

新技術の活用【月間ランキングトップ10】

平成20年10月の新技術活用ランキング

順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	1	手摺先行型足場	KT-010074-A	102	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	9	ハット形鋼矢板900	KT-050017-V	42	断面形状をハット形とすることで鋼重あたりの断面性能を向上させ投影面積当たりの材料費の縮減を図り、有効幅の拡大(400mmから900mm)による使用枚数の低減から工期の短縮及び施工費の低減を図る矢板工
3	NEW	ランブルストリップス (センターライン対応型)	HK-030032-V	32	2車線道路のセンターライン上で舗装路面を凹型に切削することにより、走行車両がセンターラインを超えたときに、音と振動を発生させてドライバーに覚醒・注意を促し、車線逸脱による正面衝突事故を防止する技術
4	22	残存型枠工法「残存型枠プロテロックピラスワンダー」	CB-980008-V	30	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
5	16	カプセルプリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)	TH-070005-A	25	ガラスビーズを反射素子に使用していない高輝度反射シートを用いた工事用表示板
6	16	Qマット	KT-980368-A	23	コンクリート構造物の湿潤・保温養生材
7	6	ニューネオソーラー	TH-020038-A	22	ニッケル水素電池を太陽電池により充電することで電池交換を不要とする道路工事用保安灯
8	3	デルタクッション	TH-020040-A	19	再生ウレタン材を活用した車両用保安防護体
9	5	ディスパライト	KK-990050-A	18	コンクリートの打継目処理において、レイトランス処理としてコンクリート硬化前に行っていた作業を、コンクリート表面の水和反応を遅らせることで、硬化処理作業時期を延長できるコンクリート打継目処理剤
10	22	パワーブレンダー工法 (スラリー噴射方式)	CB-980012-V	17	改良材をスラリー状に混練後バックホウに取り付けたアタッチメントにより軟弱土と攪拌混合し固化する地盤改良工法
10	6	太平洋ハイパーエクспан	QS-020033-A	17	効率的な膨張量を得るよう調整した配合にすることで使用量が3分の2と低減することができるコンクリートのひび割れ防止用膨張剤

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成20年10月期)